

373フラッシュ

FLASH

◆「市民オンブズマン出水」設立

出水市の住民がNPO法人「市民オンブズマン出水」を設立した。市の行財政を監視し、必要に応じて情報公開や監査請求を



する。柏木一邦理事長(77)＝写真左＝らが2日、県庁で会見し「地域の問題を報道で知ることもある。市には住民にいち早い情報提供を求め、市議と連携して議会での議論活発化も図りたい」と話した。これまで任意団体で活動。メンバーは十数人という。全国市民オンブズマン連絡会議によると、県内で同様の団体は奄美市に「市民オンブズ奄美」がある。

◆自衛隊名簿提供の除外申請開始

鹿屋市は2月から、自衛隊への名簿提供除外の申請受け付けを始めた。対象は18歳(2006年4月2日～07年4月1日生まれ)、22歳(02年4月2日～03年4月1日生まれ)の市民。申請は市役所窓口か郵送、市ホームページ(HP)の電子申請で4月19日まで。鹿屋市はこれまで18歳と22歳の氏名や住所などの情報を毎年、自衛隊側に提供していた。

出水のオンブズ NPO法人化

「住みやすい市に」

出水市などの行政運営や事業執行について監視するNPO法人「市民オンブズマン出水」が設立された。理事らが2日に記者会見して発表した。

2015年から任意団体として活動を始め、市有地の払い下げなどをめぐる問題を追及してきた。「任意団体だと行政の対応がよくない」ことから今年1月に法人格を取得した。柏木一邦理事長(77)は「問題意識

を共有する仲間を増やし、住みやすい市にしたい」と話した。

朝日新聞